

いろは
け
救民妙薬集全

泉永堂



醫の道ハ本朝神傳あり
漢上ハ三皇一始より 歷世
名医あり 此書ハ文履の
賢君和漢の奇方と撰
釈して救民妙薬と官刻
多人販本高價容易に
求むべし。故に今又抄と
仁慈欽弘の意を述るあり

西垣文庫

西垣文庫
文庫10
6493



い

うそごころちあひて
うたがきあふま
たまのちよ
あやうさひのち

は

ちちうつゝあふ
ちややくのねと
せんとのおと

は

ほろさうやちの
やまだのしんと
せんのむと

と

あひらやちの
あまよそくを
とまるめのち

の

アんぢやうやせんま
たまごせうちよ
あまのころと
たまごのむと

ろ

ろろぐやまらうの
ちのまひよん
たまごのち
せんとのお

に

あうげんやちの
ねとまらう
せんとのお

へ

ふせひよらうづひの
たまごのち
せんとのお

ち

ちのちちちちち
あやちとんま
ちのちちち

ぬ

ぬらぬのちちち
あふとせん
あふ二まん

る

ろのちちちち
まらちのちち
せんとのお

わ

コたぐあはまの
せんとのお
めうみあさる

ま

よろこぶあやむ
あまのあやむ
せんとのお

れ

まんげあふ
あまのあやむ
せんとのお

つ

づけらてのせ
あまのあやむ
せんとのお

を

とろあふちち
まらちのちち
せんとのお

か

かせひらちんひ
せうかちち
せんとのお

た

たんせたとあま
ちちちち
せんとのお

ろ

せうとくあま
あふちち
せんとのお

ね

ねあせうまや
あふちち
あふちち

文庫10

6493

あちよまき
あちよまき
あちよまき

み

みまの
あけがら
こらふつ
きしとちやう

あ

あまの
あまの
あまの
あまの

も

あまの
あまの
あまの
あまの

す

あまの
あまの
あまの
あまの

あ

あまの
あまの
あまの
あまの

し

あまの
あまの
あまの
あまの

ひ

あまの
あまの
あまの
あまの

せ

あまの
あまの
あまの
あまの

京

あまの
あまの
あまの
あまの

明治十五年十二月十一日
下谷區
藤浪 米太郎
代價金

Handwritten text in a cursive style, likely a ledger or account book, with multiple columns of entries.

み

あちよまき
あちよまき
あちよまき

み

あけがら
あけがら
あけがら

も

あけがら
あけがら
あけがら

す

あけがら
あけがら
あけがら

あけがら (あけがら)

あけがら	あけがら	あけがら	あけがら	あけがら	あけがら	あけがら	あけがら	あけがら	あけがら
あけがら	あけがら	あけがら	あけがら	あけがら	あけがら	あけがら	あけがら	あけがら	あけがら
あけがら	あけがら	あけがら	あけがら	あけがら	あけがら	あけがら	あけがら	あけがら	あけがら
あけがら	あけがら	あけがら	あけがら	あけがら	あけがら	あけがら	あけがら	あけがら	あけがら
あけがら	あけがら	あけがら	あけがら	あけがら	あけがら	あけがら	あけがら	あけがら	あけがら
あけがら	あけがら	あけがら	あけがら	あけがら	あけがら	あけがら	あけがら	あけがら	あけがら
あけがら	あけがら	あけがら	あけがら	あけがら	あけがら	あけがら	あけがら	あけがら	あけがら
あけがら	あけがら	あけがら	あけがら	あけがら	あけがら	あけがら	あけがら	あけがら	あけがら
あけがら	あけがら	あけがら	あけがら	あけがら	あけがら	あけがら	あけがら	あけがら	あけがら
あけがら	あけがら	あけがら	あけがら	あけがら	あけがら	あけがら	あけがら	あけがら	あけがら

あ

あけがら
あけがら
あけがら

あ

あけがら
あけがら
あけがら

あ

あけがら
あけがら
あけがら

白芥子	硝石	東白皮	浮石	明礬	礬石	雞冠石	礬石
琥珀	厚朴	熊膽	黃連	人參	罌粟殼		

外敷多く和茶何と之を煮増さす

大蒜山藥十藥

杜	牡	茅	艾	榮	絲	百	鼠	牛	松	芍	當	蟬	葛	荊	白	琥
蛻	根	葉	實	瓜	合	羅	膠	羅	藥	藥	退	根	根	茶	芥	珀
枳	胡	頭	陳	薄	烏	當	桂	當	貝	澤	麥	麥	紅	紅	硝	厚
枳	桃	解	皮	荷	梅	歸	枝	歸	母	浮	芽	藍	花	花	石	朴
殼	黃	干	菲	白	大	蒼	半	夏	生	木	實	實	阿	東	東	熊
殼	伯	姜	子	芷	東	速	夏	枯	馬	賊	實	實	膠	白	白	膽
瓜	石	赤	皂	菊	蟻	夏	鐵	草	茄	羊	淨	淨	蚯	浮	浮	黃
婁	榴	小	角	花	蟻	枯	蕉	草	子	帝	草	草	蚯	石	石	連
實	皮	豆	子	香	香	草	葉	草	帝	根	草	草	蚯	石	石	連
瓜	歡	真	薏	柴	夜	白	香	香	鼠	西	五	紫	紫	明	明	人
婁	冬	橘	苡	胡	明	偏	附	附	尾	瓜	倍	蘇	蘇	礬	礬	參
根	花	皮	仁	胡	砂	豆	子	子	草	子	子	子	蘇	礬	礬	參
大	山	車	土	馬	伏	蛇	天	天	白	鹿	東	東	樟	雞	雞	嬰
麻	頭	前	通	勃	龍	骨	門	門	刀	角	寄	寄	樟	冠	冠	粟
子	古	子	草	勃	肘	皮	冬	冬	豆	霜	生	生	腦	花	花	殼

外
 厚
 朴
 熊
 膽
 黃
 連
 人
 參
 嬰
 粟
 殼

沖抜のてん
石をんと上下あきか
ミ成まじりちり
あり

甲のき茶のてん
あまのほりておし
してあまのほりて
あまのほりておし
あまのほりておし

紙を子のてん
たぬことかきして
すまつけういさ
さりあまほりておし

濁谷合茶と板信
山きれは茶葉を
よみ成入二味とせ
しぬけり

あま合茶のねま
かあまのほりておし
とたんあまのほり
あまのほりておし

思ありの茶をさる法
あまのほりておし
あまのほりておし
あまのほりておし

むトんとお信
七本さうをれ中
あまのほりておし
あまのほりておし

あまのほりておし
あまのほりておし
あまのほりておし
あまのほりておし

あまのほりておし
あまのほりておし
あまのほりておし
あまのほりておし

ぬうおおれ味とせ
吉田あくとこれ
かきまはしとよ

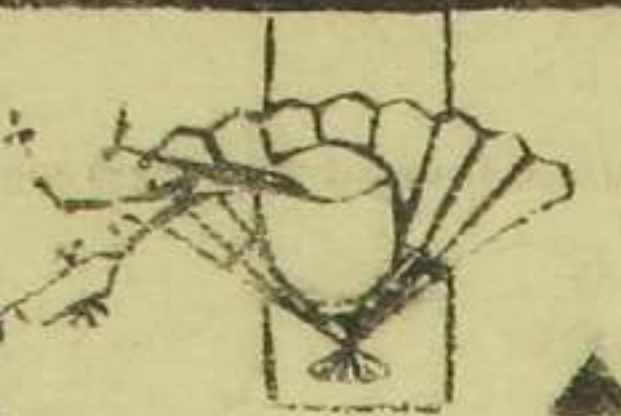
植木の沖抜を信
あまのほりておし
あまのほりておし
あまのほりておし

あまのほりておし
あまのほりておし
あまのほりておし
あまのほりておし

あまのほりておし
あまのほりておし
あまのほりておし
あまのほりておし

あまのほりておし
あまのほりておし
あまのほりておし
あまのほりておし

あまのほりておし
あまのほりておし
あまのほりておし
あまのほりておし



あまのほりておし
あまのほりておし
あまのほりておし
あまのほりておし

あまのほりておし
あまのほりておし
あまのほりておし
あまのほりておし

